

対話の意思

議会は「対話する」と言いながら、事実として対話に応じていません。改めて言葉の真偽を判定するため、それぞれ確認を行いました。

正副議長定例協議

「執行部との対話は議会の長たる議長の仕事であり、出席の責任がある」と宍戸議長へ通知し、改めて対話の意思を問いました。しかし、回答がないため、議長に議会の窓口として対話する意思はないと認めるに至っています。

武岡議員との面談

武岡議員は自身の後援会だより(2022年4月11日発行分)で「議会是对話を拒んだことは一度もない」と主張されています。当然、市長と対話する意思があると考え、本人へ面談を申し入れましたが、回答はありませんでした。

そもそも議会が対話を拒み始めたのは、武岡議員の居眠り問題について顛末を明らかにしなかったのが発端です。その意味で、武岡議員は他のどの議員よりも説明責任を果たさなければなりません。なお、後援会だよりには、不正確な事実の描写があるだけでなく、市長に対して「常識を逸している」などという表現も使われていました。今後、武岡議員に対しては、居眠り問題と併せて後援会だよりの真意を問いただしていきます。

副市長定数削減の問題点

議会は意見聴取を拒みながら執行部の人事に介入

副市長人事を否決した理由と2021年度予算の可決に整合性がないため、2021年3月から議会に意見聴取を申し入れました。しかし、議会は「行財政上の重要問題ではない」と執行部との対話を拒否してきました。結局、議会は執行部の意見も聞かないまま、2022年3月の定例会において副市長の定数を削減し、執行部の人事に関して一方的に制限をかけるに至っています。

一方的に定数を削減

こうした異常事態にもかかわらず、中国新聞などは肝心の経緯を伝えておらず、表面的な報道に終始しています。対話を拒んだ挙句に執行部の人事に介入するなど、議会の本来的な役割を無視した行為であり、看過してはならない事態です。二元代表制のあるべき姿を取り戻すために、問題の本質を周知する必要が生じています。

市長 石丸 伸二

《主な動き》

日付	内容	説明
4/1	面談	南澤議員、田邊議員が会派「シセイクラブ」の設立について説明。
4/12	正副議長定例協議	正副議長は欠席。
4/13	講演	「全国若手市議会議員の会」の研修会において石丸市長が講演。
4/20	面談	南澤議員、田邊議員へ消防団の運用について説明。
4/22	議会への書面通知	議長に対して定例協議へ出席する意思の有無を問い合わせ。
4/22	議会への書面通知	武岡議員へ面談の日程調整を申し入れ。
4/28	面談	熊高議員と八千代の丘美術館について意見交換。

一般質問のまとめ

3月定例会の一般質問では、9人の議員から質問がありました。今回は、2020年11月の改選以降で最も混乱が少ない議事進行となり、ようやく建設的な議論の場が実現しつつあります。

指摘を受けて一般質問の改善が進む

これまでは、抽象的な質問を通告したり、質問中に要望を述べたり※と一般質問として不適切な事態が頻発していました。しかし、重ねて指摘してきた結果、今回の一般質問において議長の注意や確認でたびたびやり取りが中断したのは山本(数)議員、山本(優)議員のみとなり、他は円滑に質問と答弁が行われています。

※4月号で解説した通り、議会運営の手引きである『議員必携』では、通告内容は具体的でなければならず、また要望は厳に慎むべきとされています。



偏った新聞報道

中国新聞は3月18日付の記事で、「続くあつれき 市民不満」と題し、市民の感想を切り貼りする形で定例会の印象を伝えています。

もっとも、議長が注意した事実から明らかな通り、議事進行の乱れは注意を受けた議員の責任であり、「あつれき」などという言葉で責任を転嫁すべきではありません。また、一部の議員に固執するあまり、ほとんどの議員の働きを正当に評価していないと言えます。文脈を無視した発言の抜き出し方や部分をもって全体とする報じ方は、中正を欠いており、「社会の公器」として不適切です。

《一般質問における各議員の質問時間》

氏名	令和2年(第4回)	令和3年(第1回)	令和3年(第2回)	令和3年(第3回)	令和3年(第4回)	令和4年(第1回)
南澤 克彦	26分	29分	19分	30分	17分	28分
田邊 介三	-	26分	21分	14分	24分	16分
山本 数博	29分	30分	11分	-	30分	29分
武岡 隆文	-	29分	-	24分	12分	-
新田 和明	27分	26分	21分	-	22分	-
芦田 宏治	22分	27分	25分	26分	25分	23分
山根 温子	30分	29分	25分	30分	22分	-
先川 和幸	-	-	-	-	-	-
児玉 史則	-	-	-	-	-	21分
大下 正幸	-	-	-	-	-	-
山本 優	-	13分	17分	20分	30分	30分
熊高 昌三	29分	27分	17分	30分	28分	28分
秋田 雅朝	27分	27分	26分	27分	30分	24分
金行 哲昭	8分	9分	13分	9分	12分	11分
石飛 慶久	18分	-	18分	23分	-	-
宍戸 邦夫	-	-	-	-	-	-

※持ち時間は1人30分。本市議会において、議長は慣例によって質問を行わない(法的には質問できる)。